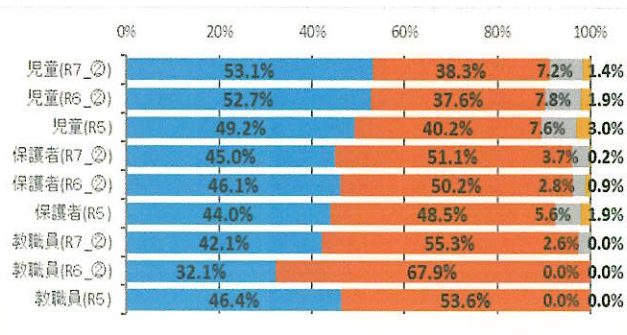
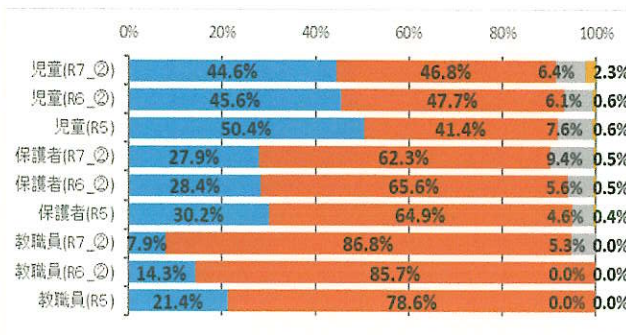


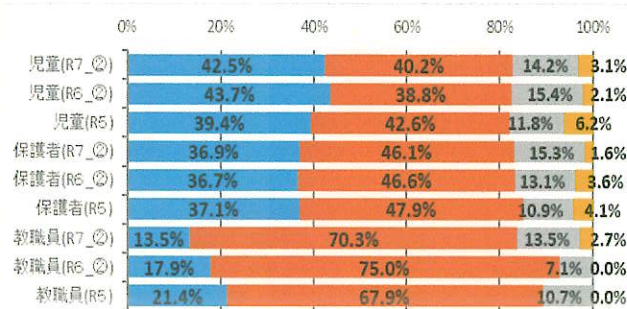
1. 学校生活は楽しい



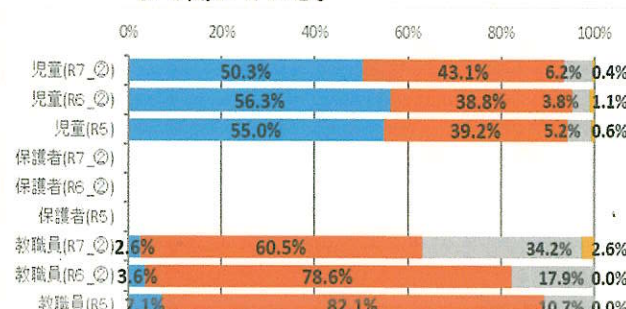
2. 授業の内容が良くわかる。



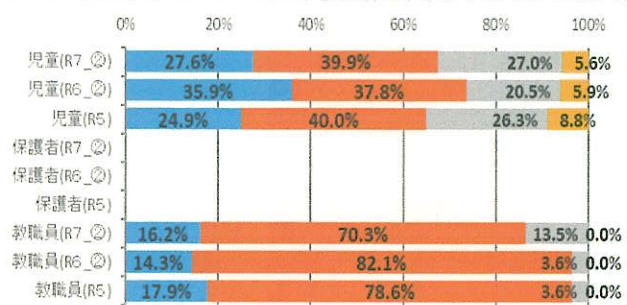
3. 毎日、進んで家庭学習に取り組んでいる。



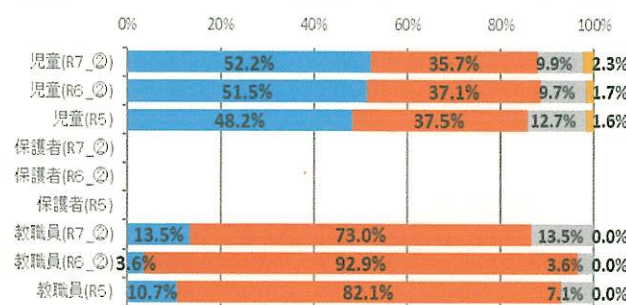
4. 先生や友だちの話をよく聞いている。



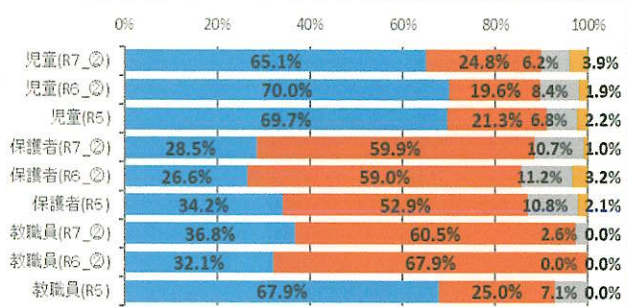
5. 友だちの意見をよく聞いて、それにつなげて発表するようにしている。



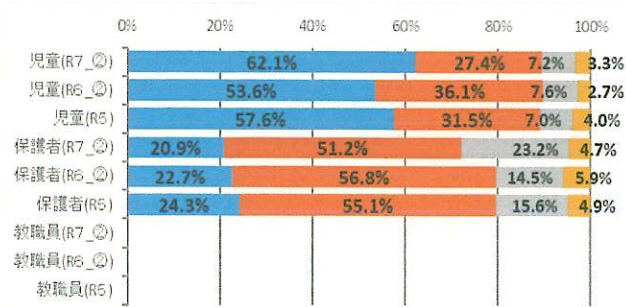
6. 授業などで、友だちと教えたり、教わったりすることができる。



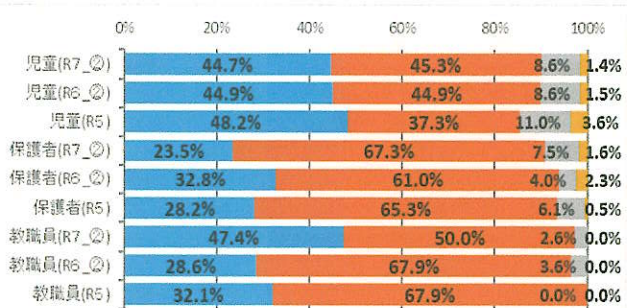
7. パソコンやタブレットを使って学習することが好きである。



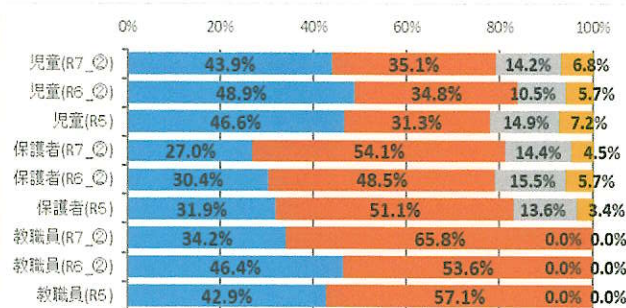
8. パソコンや携帯電話、ゲームを使う時のルール（約束）を守っている。



9. 教科によっていろいろな先生に教わることは、学習内容の理解につながっている。



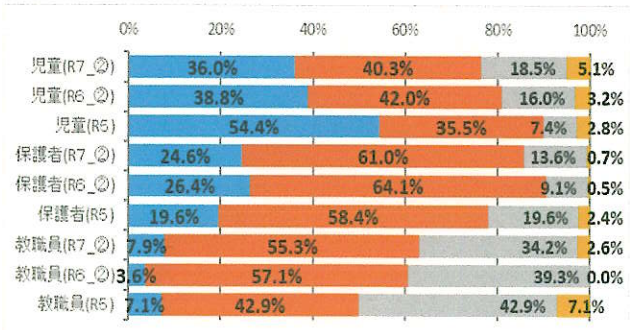
10. 外国語の授業は楽しい。



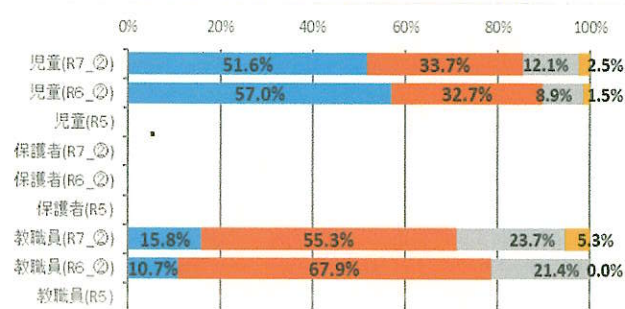
1 1. 友だちと仲良くできる。



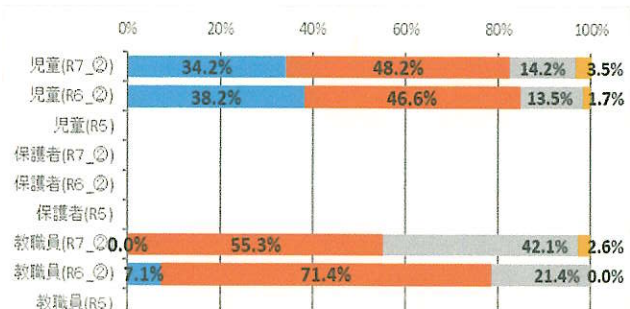
1 2. 大きな声であいさつや返事をしている。



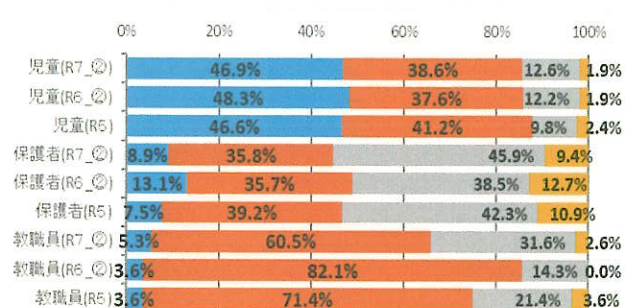
1 3. あいさつをされたら、しっかりと声を出して返している。



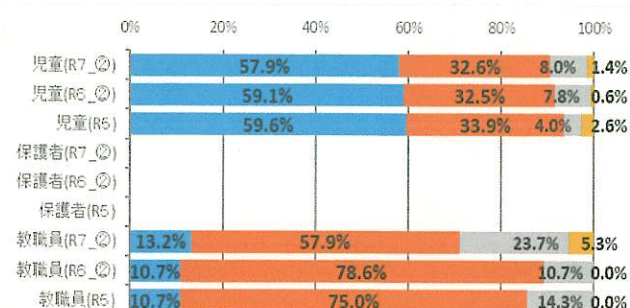
1 4. ていねいな言葉づかいを心がけている。



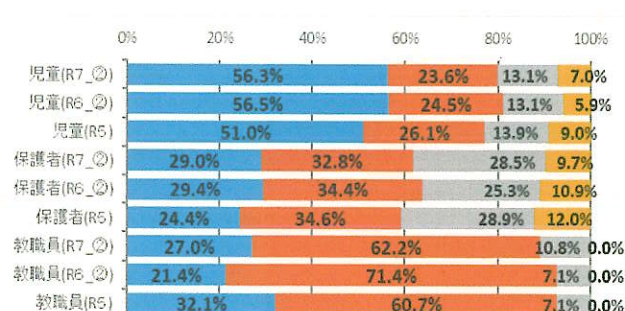
1 5. 身の回りの整理整頓をきちんと行い、学校や教室をきれいに使っている。



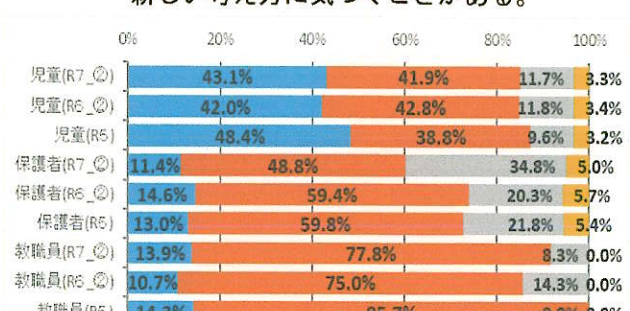
1 6. 学校をきれいにしようと、しっかりと掃除をしている。



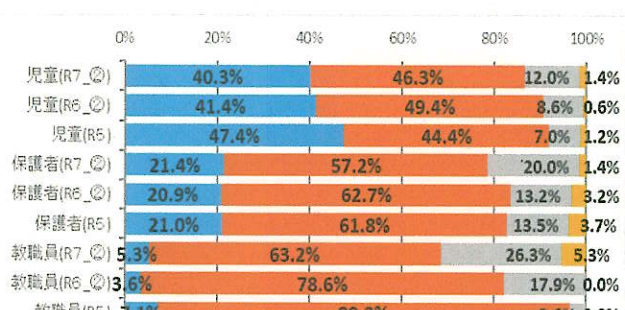
1 7. 本を読むのが好きである。



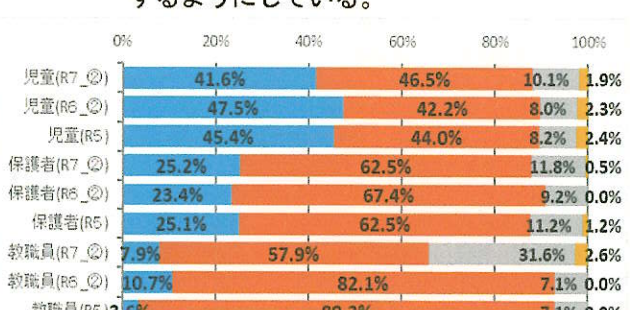
1 8. 道徳の授業を受け、新しい考え方に気づくことがある。



1 9. 時間やルールを守って、活動している。



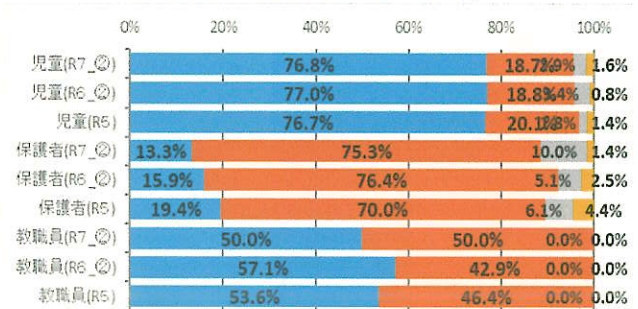
2 0. 相手の気持ちを考えた言葉かけや行動をするようにしている。



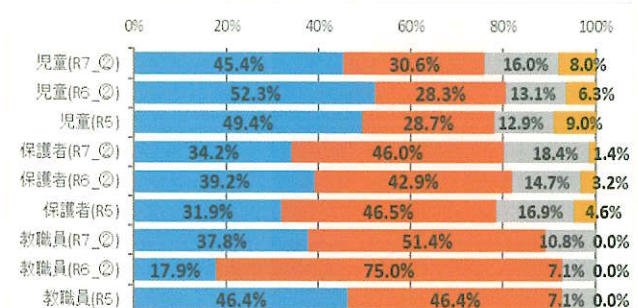
21. (1～3年生) 上級生は親切にしてくれる。
(4～6年生) 下級生に親切にしている。



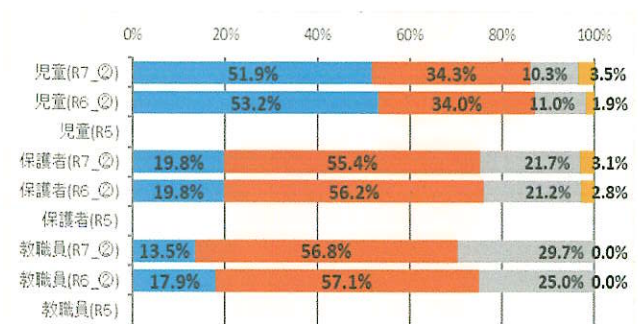
23. いじめは、どんな理由があっても、
いけないことだと思っている。



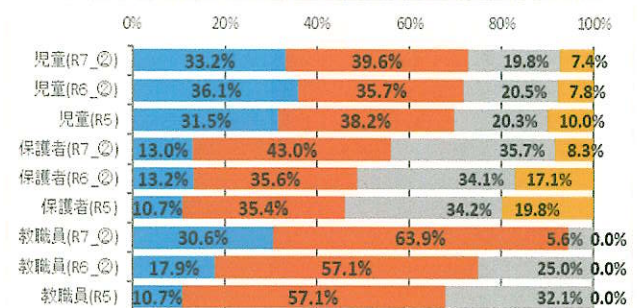
25. 絵を見たり、音楽を聴いたりして
感動することがある。



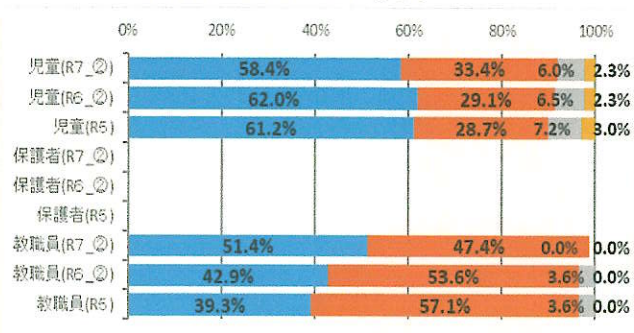
27. 難しいことにも挑戦するように心がけている。



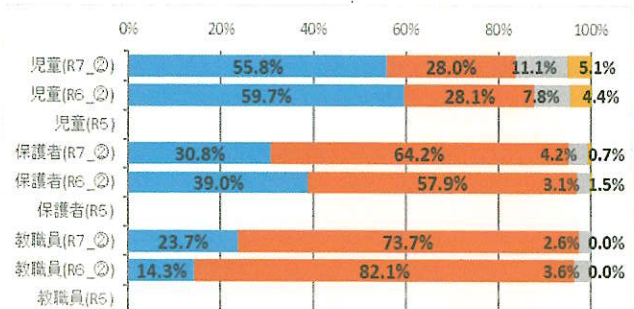
29. 地域のボランティアや自治会の方など
身近な人と進んで関わることができる。



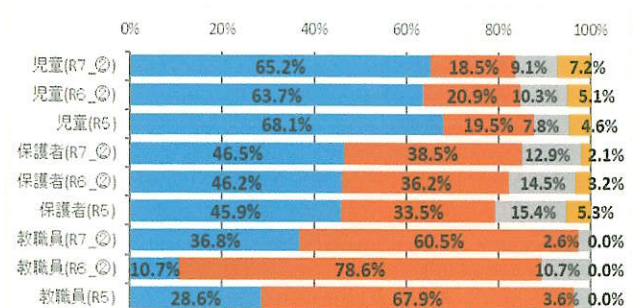
22. クラスや学年のみんなで何かをやり遂げて、
うれしかったことがある。



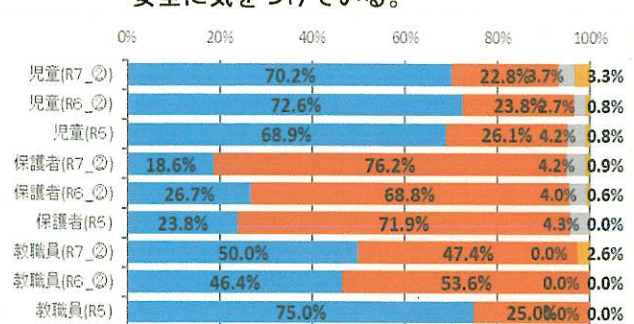
24. 悩みや不安を相談できる人がいる。



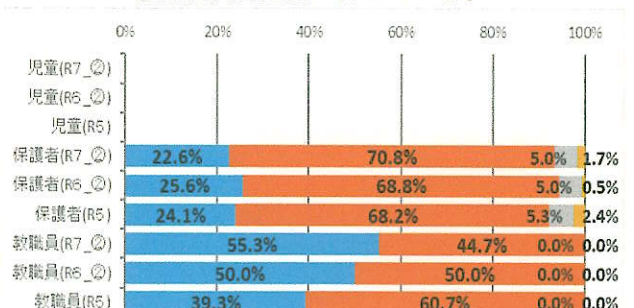
26. 運動やスポーツをすることが好きだ。



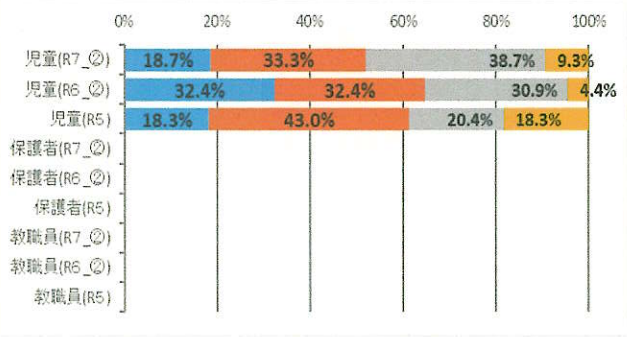
28. けがや事故がないよう、
安全に気をつけている。



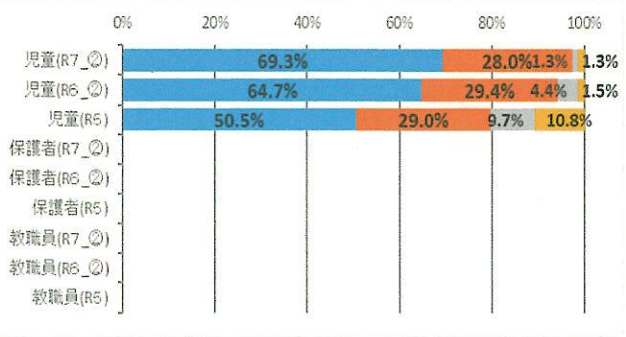
30. 高洲小学校は、保護者や地域の方に対して、
情報提供を適切に行っている。



3 1. 中学校と交流することで、
中学校への進学不安が少なくなった。



3 2. 高洲小学校に通えて良かったと思う。



1 目的

- (1) 学校が自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 学校が自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表により、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

2 実施日

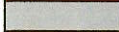
児童	12/1（月）～12/10日（水）
保護者	11/20（木）～12/10日（水）
教職員	12/1（月）～12/10日（水）

3 回収率

児童	487名/518名	(94.0%)	参考	第1回：90.3%
保護者	426名/518名	(82.2%)	参考	第1回：25.8%

4 回答と結果について

- ・ 質問に対しての回答は、「よくあてはまる」・「だいたいあてはまる」・「あまりあてはまらない」・「あてはまらない」の4択とし、児童は質問に対して、保護者は「お子さんは」もしくは「保護者は」と、教職員は「高洲小学校の児童は」「高洲小学校は」と主語を置き換えて回答する。
- ・ 別紙のグラフは回答の割合を示すものとし、グラフの色のパターンは以下のとおりである。

	よくあてはまる
	だいたいあてはまる
	あまりあてはまらない
	あてはまらない

- ・ 「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的な回答、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的な回答として考察する。

5 結果と今後の取り組みについて

- (1) 学校教育目標「学び合い、高め合い、しなやかに生きる子どもの育成」に関する質問項目について
 - ・ 質問1,2において、児童、保護者ともに肯定的な回答が9割を上回っている。
 - ・ 質問4については、児童の9割以上が肯定的な回答であるのに対し、教職員は6割弱の肯定的回答にとどまっており、差が見られる。一方、質問5については、教職員が高い割合で肯定的評価であるのに対して、児童の肯定的評価は6割強にとどまっている。
 - ・ 質問7,9,10については、児童・保護者ともに、肯定的な回答が高い水準を維持している。
 - ・ 質問8については、児童と保護者の意識に少し差が見られる。
- 概ね、昨年度と同様の結果であることから、引き続き、学び合い、高め合う学習の充実を図っていきます。今後も友だちの意見を聞いて、それを踏まえて自分の意見や考えを伝えることで、学びが深まったと実感できるよう継続して指導してまいります。
- 「聞く力」について、具体的にどういう力をつけたいか、どうなったら力がついていると言えるのか、児童に示しながら進めていきます。
- (2) 学校教育目標「学び合い、高め合い、しなやかに生きる子どもの育成」に関する質問項目について
 - ・ 質問11,14,15,21,22,23,24については、高い水準を維持している。
 - ・ 質問12において、肯定的評価が児童は減少しているが、教職員は増加している。
 - ・ 質問15においては、児童と保護者の肯定的評価の割合に差が見られる。
 - ・ 質問13,14,16においては児童と教職員の肯定的評価の割合に差が見られる。
 - ・ 質問17においては、児童と保護者・教職員の肯定的評価に差が見られる。
 - ・ 質問26,28では、児童・保護者・教職員ともに肯定的評価が高水準を維持している。
- 肯定的評価は比較的高い水準ではあるものの、対象者間によって割合に差が見られる。「しっかりと」「ていねいな」「きちんと」「きれいに」などの言葉の捉えに差がある可能性がある。

という状態を目指すのかをはっきりとさせていく必要がある。

その上で、引き続き、心豊かな児童の育成を目指し、道徳教育や特別活動の充実を図っていきます。

いじめアンケートやにじいろルームでの相談、子どものつぶやきなどから「いじめ」に関する情報をしっかりとキャッチし、保護者とも連携を取りながら、より一層、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めていきます。

「豊かでていねいな言葉」と「あいさつ」でコミュニケーション力を高め、言葉を通して互いの思いや考えを共有（尊重）できる児童を育成していきます。

全対象において肯定的評価が高い項目については、教職員の意識向上と高学年児童による委員会活動の取組における声かけやイベント開催による成果と考えられる。

引き続き、児童主体の活動を支援し、しなやかに生きる子どもの育成に努めていきます。
- (3) その他、情報提供や地域とのかかわり等について
 - ・ 本校の特色である、教育活動の充実のために地域の力をお借りして進めていることの成果が表れている。
 - ・ 情報提供については、児童・保護者・教職員ともに高い水準で肯定的評価を得ている。
 - ・ 「高洲小学校に通えてよかった」と回答している6年生の割合が年々増加している。また、「学校が楽しい」と回答する児童の割合が高い。
- 学校が子どもたちにとっての居場所となるよう、引き続き、地域・保護者と連携しながら、どの子にとっても学びの多い、安心できる学校づくりに努めていきます。